

審議会等会議録（概要版）

審議会等の名称	平成27年度第1回阿東地域まちづくり審議会
開催日時	平成28年1月27日（水曜日）10:00～11:50
開催場所	阿東地域交流センター 第2会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	倉田壽明委員、貝森澄代委員、三宅悦子委員、椿包光委員、原田郁夫委員、金子勲委員（6名）
欠席者	山村繁樹委員、山本秀生委員、山本純也委員、椎木耕司委員、芳元聰委員（5名）
事務局	小野総合支所長、柴本副総合支所長、谷総務課主幹 山見定住支援室長、中村定住支援室主幹、河村観光課副主幹 河村農林振興事務所長、山本施設維持課長、斉藤健康増進課主幹（9名）
議題	1 山口市過疎地域自立促進計画について 2 その他
内容	<p>会議次第に基づき、以下のとおり進められた。</p> <p>1 開会 <事務局・柴本副総合支所長> 開会 会議成立の確認 ・委員6名が出席しており、山口市まちづくり審議会条例第6条第3項に規定する充足数を満たし、会議が成立している旨を報告。</p> <p>2 委員紹介 <事務局・柴本副総合支所長> 自己紹介 会議資料の確認 ・条例第6条第2項に基づき会長が議長となる旨を確認。</p> <p>3 山口市過疎地域自立促進計画について <倉田議長> 審議会の公開を確認（全委員了承） 議事録署名人の指名（原田委員、三宅委員） <倉田議長> 次第の3、「山口市過疎地域自立促進計画について」事務局に説明を求めます。 <事務局・定住支援室> 配布資料に沿って説明 <倉田議長> ただ今、事務局から説明を受けましたが、御意見、御質問等ございませんでしょうか。 <原田委員></p>

平成 27 年度国勢調査の速報値によると、阿東の人口は 10 年間で 25% も落ちている。世帯数も同じくかなり減っている。あと 10 年 20 年経つと阿東は一つの地域社会として成り立たない状況だと思う。このことを頭に描き今日の自立促進計画を考えていかなければならない。阿東は非常に厳しいということ、徳地よりも更に厳しい、一番阿東が最低ということをしかりと頭に入れて考えていかないと自立促進の対策にならない、そういう感じを冒頭申し上げておきます。

<事務局・定住支援室>

過疎対策については、昭和 45 年から国を挙げ過疎対策を講じてきながらも、こういう現状にあるということは、過疎自立促進を図るということは大変難しいこととだと感じています。地域の要望をいろいろ伺いながら地域と連携を密にし、いろいろな施策を講じていきたいと考えております。市としても、平成 27 年度から定住実現を前面に押し出し、私たち定住支援室のみならず、子育てや雇用など様々な定住支援に繋がる施策を全庁あげて進めています。地域の実情も踏まえ市をあげて施策に取り組み、地域の自立促進に少しでも近づけるよう頑張っていきたいと考えています。

<椿委員>

阿東地域の将来像というか大きなテーマを持ってそれにぶつかっていけないといけないと思う。行政は、地域住民と一心同体で物事について死に物狂いでやるという気構えを持ち、地域に、相手の懐に飛び込んで進めていかなければ駄目だと思う。意見を掘り下げ、聞いただけで終わるのではなく、飛び込んでニーズを把握し、しっかりグループを作って一緒にやりましょうって気構えを持ってやっていただきたい。地域に良いアイデアを持っている人は大勢いると思います。

計画書の事業については全て問題があると思う。例えば願成就温泉は湯量が足りていないのでボーリングから見直したほうが良い。

<事務局・定住支援室>

山口市全体には 21 地域ありますが、私ども定住支援室が徳地・阿東という 21 分の 2 という地域の現場に出向いています。残り 19 地域には、専門・担当部署もない地域が多くあります。そういったことから、阿東地域の皆さん方の意見を聞く機会は、私は他の地域よりも多いと自負しているところでございますので引き続き、またいろいろと意見を賜ればというふうに思います。

願成就温泉については、後ほど観光課がお答えします。

<三宅委員>

失礼になるかもしれませんが、職員が地区外へ引っ越している。個人的なことなので止めることは絶対に出来ませんが、阿東を愛して、やっぱり定住していただけたら良いなと言うような気持ちがあります。

それからテレビで観たのですが、大島の過疎の町に外部から人が入ってこられて、地域の眠っていた資源、地域の方にとっては何てことも無いようなものが宝物なのだというような内容でした。やはり、その町を活かすも殺すも人づくりと

思います。そういう考えで進んでいただきたいと思います。

<事務局・定住支援室>

外部の人たちの視点による地域資源の再発掘などは、本市でも徳地・阿東地域に、今では南部地域にも地域おこし協力隊という形で取り組んでおります。是非そういった方々を地域として暖かく迎え入れていただきたいと思いますし、移住者交流会など移住者の皆さん方が集まる機会や、それでさらに移住者を呼び込んでくるというような仕掛けづくりを市としても応援していきたいと考えております。人口の自然減はなかなか食い止められませんが、社会減を少しでも、転出を押さえて転入を増やすような取組みをいろいろと頑張っていきたいと考えております。

<金子委員>

過疎対策には若者の定住が一番重要と考えます。過疎の原因、若者の定住が難しいのは、阿東の主な産業の米、野菜、木材の価格が非常に低迷しているからだと思います。価格が低迷している理由は様々であり TPP など世界的な問題なのでそう簡単ではないが方法はあると思います。例えば、東京や大阪などにセールスに行くなど、まずは行動を興すことがとても必要と考えます。特に、阿東のコシヒカリと阿東和牛をそれなりの値段で買っていただけるように、こういった行動を事業化できないのかなと思います。事業化するには民間と行政がいろいろ努力する必要がありますし、話し合いを重ねる必要も、法律の問題などいろいろあるのですが私はここにポイントがあるような気がします。

<事務局・定住支援室>

農産物等の付加価値化は阿東地域内でも小さな取組みは始まっています。田楽米や嘉年の地域おこし協力隊の小袋に入れた5地域米など普通のお米の単価よりも高く売られております。総じて言えますのは、これまでお米は農協に出荷をされていたと思います。今では農家が自ら売れる時代となりましたが、やはり農協依存からまだ脱却できていないのかなと感じますし、阿東のお米は美味しいんだよと外に向けて情報を発信していく部分などは農家の苦手の部分ではないかと思います。情報発信や市場開拓、販路拡大など、こういったことに明るい移住者に取り組んでいただくことが一番効率的というか現実的な話になるのかなと考えております。

<事務局・阿東農林振興事務所>

阿東の農業もかなり法人化が進んできており、各法人が直接販路開拓をされるなど、そういった努力は徐々に広がりつつあると感じております。

阿東和牛については、ふるさと振興公社を中心に長門峡道の駅でほとんど販売しております。高く売ることも確かに必要ですが、市民のみなさまに幅広く食べていただきたいという一面もありバランスをとりながら調整し販売されております。

<貝森委員>

お米のことですが、阿東米、阿東米コシヒカリといいますが阿東内でも場所によって味が全然違いますし、今ではいろいろな所のお米も味は劣っていないと感じています。

阿東米を購入された方で、品質が悪いものがあつたと聞くことがありますので、これでは阿東米の信用が無くなると思われます。

<事務局・阿東農林事務所>

そういったことがあると、おっしゃられるとおりに、品質を統一し、統一ブランドで売っていくことになると辛いと思います。

<貝森委員>

やはり若者が結婚しないから人口が少ないと思います。それと男性が結婚されていない方も多いと思います。

家族で話し合いをすると、子どもたちが阿東にずっと住まないかもしれないと言っていました。だんだん不景気になりますし、だから責任を感じているところであり、地域も家族も気にかかることです。

<椿委員>

島根の匹見が最近になって変わったと同級生が言ってきたので行ってみた。30年前は凄いい田舎であつたが、温泉がかけ流しの民間の宿が2軒もできていた。平日にもかかわらず乗用車やマイクロバスまで来ていて、グラウンドゴルフの競技者も多かつた。徳佐に帰って来たら誰一人も歩いていない。匹見は、地域がいろいろと手を握りあつて、それから外から来た人を大歓迎してやってきたということであつた。

阿東の場合は、付き合ってみれば分ると思うが、ある程度までは協力するけど、グループのトップ同士になると、自分が、自分がと言つて、一緒にやろうと言つても今まで成功したことが無い。まだまだ地域ぐるみのオール阿東という意識が無い。これを直すのには、民間ベースの責任もあるし行政も責任があると思う。これまでの長い間、とりあえず農協などに付いていけばええじゃろうという地域性もあるのではなからうか。

簡単に言えば、観光なら観光の専門的な方を呼んで、情報交換会などを頻繁に行つていかないといけないと思う。

<事務局・定住支援室>

この件につきましては、その他の項目でお答えしたいと思います。

<原田委員>

この計画が了解になると今後どういう展開になるのでしょうか。実際に具体的なプロジェクトにどう結びついていくのでしょうか。

<事務局・定住支援室>

最終的には、この3月議会に議案として提出し承認されましたら、国や県に提出します。個々の事業については、この計画書に記載されていないと過疎債の対象になりません。具体的な事業計画については、各担当部署において、実施時期

や期間、事業費などを毎年度見直しも含めて進めていくようになります。

<原田委員>

この計画書に記載されている事業の財源は、全て過疎債なのでしょうか。

<事務局・定住支援室>

いえ過疎債では無いものも載っています。

例えば、県営圃場整備など事業主体が山口県で過疎債は特には関係のないものも記載しております。過疎地域の自立促進の考えられる事業を全て載せているという位置づけのため財源が一般財源のものもあります。

<金子委員>

私が先ほど発言しました地域農産品の販売ルートの確立等を具体的に計画書に加えていただくことはできないのでしょうか。

<事務局・定住支援室>

現状の部分については26ページに、その対策が28ページ以降に記載しております。29ページの(エ)で6次産業化や道の駅や観光施設の連携、効率的な流通体制を図るという部分で少し付加価値化を高めるといって高く売っていくというような方向性は示さしていただいています。

具体的に事業としては載ってはおりませんが、そういった部分に関しましては経費がかかるものは事業計画として載せておりますが、経費がかからない部分もあると思います。そういった部分については具体的な事業としてそれが動くときに担当部局である経済産業部でこれに追加するようになると思います。

<金子委員>

その気になれば、私が先ほど言いましたように、例えば大阪地方の商人と交渉するとすれば具体的に出張旅費など経費がかかると思いますので、是非事業に載せていただきたいと思います。

<事務局・定住支援室>

担当部局に、そういう御意見があったということをお話をさせていただきたいと思います。その結果については、こちらの方に御一任いただければと思います。

<椿委員>

総合的な窓口的なことをお尋ねしますが、いろいろ想いがあってそれを要望するには、総合支所と地域交流センターのどちらに行けば良いのでしょうか。

<事務局・阿東総合支所長>

基本的に地域の窓口は各地域の交流センターで、旧町の地区については総合支所になります。阿東地域は総合支所という機能を持っておりますので、基礎的な行政手続きや道路の改修の要望などは総合支所になります。もうひとつは、地域のいわゆる地域づくりとかそういった話になると交流センターということになります。いずれにしてもお気軽に総合支所に来られるなり交流センターなりどちらでも構いませんので来ていただけたらと思います。

<三宅委員>

阿東総合支所には、決定権はないのでしょうか。

<事務局・阿東総合支所長>

現在、決定権的なものは各総合支所には無い状況です。総合支所のあり方や基本的な考え方について市長も非常に気にしております。特に中山間地域の地域に向けてはそういった形のようになっていくとは思っております。

<倉田議長>

過疎地域自立促進計画についてはよろしいでしょうか。

<各委員>

はい。 (了承される。)

<倉田議長>

それでは、その他項目にまいります。

<原田委員>

自分たちが行政に相談に行かないのは、行っても返事がもらえない、返事がもらえても時間がかかる。民間では考えられない。総合支所長にまで決裁権限が無いのは組織として異常と思います。

<事務局・阿東総合支所長>

総合支所は、地域の要望が何故それを要望されているのかを正確に担当部署の方に伝える、地域に密着する行政の窓口としての機能という役割になっています。

<原田委員>

自治会数が124組織もあり人口の減少により機能していない組織もある。行政に相談すると、それは地域で話し合ってくださいという話に戻る。今なら、まだ統合などに組み組めると思うが、もう少し時間が経つと見直しも困難と思われる。

<事務局・阿東総合支所長>

その件は協働推進課へ伝えてあります。地域の方の想いを良く把握をし、自治会とはという行政としての考えを伝えて、現状では防災も機能しない、地域のお祭りも廃れてしまうなど皆さんが集まろうかという話になっていけば一番良いのかなと思っております。

<事務局・定住支援室>

過疎計画の中にも集落再編というような記述もしておりますし、地域づくり支援センターとも話し合いをしております。定住支援室としてもお手伝い出来ることはやっていきたいと思っております。

<倉田議長>

他にありませんか。

<事務局・阿東副総合支所長>

本日欠席されている商工会の山本委員さんから3点ご質問をいただいております。1点目は、現状は年金があるから事業を細々と続けられている事業者が多い。今後、廃業となり事業の継承を希望される方がいる場合に、事業継承者への支援

をお願いしたい。第2点目は、道の駅「長門峡」は、阿東の入口、観光の顔なので、施設の整備を望む。また、「願成就温泉」など他の観光施設への誘導を強化し阿東管内の交流人口を増やしていただきたい。さらに、イベント時には、山口方面の帰り道が混むので木戸山トンネル横の道から宮野のマルキに出ることができる現道を迂回路として整備していただきたい。3点目は、市役所の体制について、「中山間地域の活性化を進めていくには、行政は縦割りではなく、横の連携が必要と考えるので、阿東の問題は阿東管内で完結できるくらいの組織を望む。」とのこと。

<事務局・定住支援室>

事業継承者については、過疎計画にはまだ載せておりませんが平成28年の新規事業として事業継承者への支援策の仕組みづくりを進めているところです。

木戸山トンネルの関係については、旧阿東町時代から今も引き続き国へ要望しておりますが、過疎計画に関しましては宮野地域となり過疎地域外の話となりますのでこの計画には載せてはおりません。

市役所の体制については、現在、総合支所の業務内容など行政サービスのあり方を総合的に検討して更なる機能の集約化をしていくという方向性で検討しております。

<事務局・阿東農林振興事務所長>

道の駅長門峡については、老朽化がかなり進んでいるので、観光の顔となるように交流人口を増やすことの出来る施設となるように必要な整備を進めていく予定です。

<倉田議長>

他にありますか。

<金子委員>

将来的な医師の確保、特に外科医の確保について、どう考えていらっしゃいますか。

<事務局・健康増進課>

徳地地域では、現状で柚野・串地区に市でへき地診療所を設けて週1回医師にきていただき診察をお願いしています。阿東地域も将来的には同様の問題が発生する可能性があるので、そういった医療が確保できるように引き続き検討してまいります。

<原田委員>

旧山村開発センター跡地に健康福祉の拠点づくりを市と進めている。近い将来無医地域になる恐れがあるので、そこに診療所機能を設置し常時医師に駐在していただけるよう市長をお願いしている。

<事務局・観光課>

願成就温泉について、特に機械設備が老朽化しているので改修を検討しています。観光の資源として、道の駅の機能、温泉の機能といった、また地域の交流の

	<p>場としてどのような機能をどう求めていくかを指定管理者とも協議をしながら進めていきたいと思っています。観光課としては全体的な観光、交流人口の拡大が一つの目標で阿東地域には JR 山口線も国道 9 号もあり交通の便も良く、長門峡やウッドパークなど人を引き付ける魅力を出す原石は多いと思います。これらの原石を繋げて全体的な魅力として発信し、外から人を引きつけ、いろんなものが成就していくと地域にお金も落ち雇用も生まれ、それが定住に繋がり地域が活性化すると考えますので、地域の皆さんと協力しながらやっていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。</p> <p>< 椿委員 ></p> <p>温泉のボーリングはどのように考えておられるのでしょうか。</p> <p>< 事務局・観光課 ></p> <p>ボーリングについては、確かに湯量の問題もありますが、ざっと調査をするのにも何百万円、実際、掘るにはざっと 100メートルで1千万円とか、3000メートルとなるとかなりの投資が必要となります。観光客を呼んでくるには観光客のニーズをふまえて考えないといけないと思いますので長期的な研究課題とさせていただきますしかないと考えています。</p> <p>< 椿委員 ></p> <p>大反論ですけど、ニーズがどうこうという前に必要かどうかを検討していただきたい。温泉の原点はボーリングだと思う。ボーリングが過疎債の対象事業に該当するのなら、仮に該当しなくても、まずボーリングをやるべきだと思います。</p> <p>< 事務局・定住支援室 ></p> <p>ボーリングは過疎債の対象にはなりません。実施するとなると全て一般財源になります。これだけの予算確保はなかなか厳しいと思いますので、十分な検討期間が必要だと思います。</p> <p>< 事務局・阿東副総合支所長 ></p> <p>それでは最後に事務局から 1 点御連絡がございます。今年度のまちづくり審議会の予定については現在のところ平成 27 年度の開催予定はありません。この回を持ちまして 27 年度の開催を終了させていただきたいと思います。事務局からは、以上でございます。</p> <p>< 倉田議長 ></p> <p>それでは、以上をもちまして、平成 27 年度第 1 回の阿東地域まちづくり審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>
<p>会議資料</p>	<p>過疎地域自立促進特別措置法の概要 山口市過疎地域自立促進計画（素案）の概要 山口市過疎地域自立促進計画（素案）</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>阿東総合支所総務課 TEL 083-956-0117</p>